

小包の案内

(天 賞)

岩代須賀川
町服部方

水野 仙子

日長のつれづれをいろ／＼取り集めて小包といたし
只今差出し申候。

多分明夕方頃はお机のあたりに小さき響をたて申べ
く、開かぬうちが花に候へば、結び目はわざとかたく
いたし候。右御案内まで、あら／＼。

【入力者注】底本には傍点等ありますが、省略しました。

底本：『文章世界』明治四十年七月號

テキスト入力：小林 徹

公開：令和六年十月十四日

リンク：[水野仙子作品年譜](#)